

## 伊丹せいふう病院

### 【看護部理念】

一人ひとりのこころと身体をささえる看護

### 【基本方針】

1. 目くばり・気くばりを行い、患者・家族が笑顔になる看護をおこないます
2. 根拠に基づいた質の高い看護をおこないます
3. 専門職としての責任を自覚し、自己研鑽に努めます
4. 多職種と連携をはかり、患者を中心としたチーム医療をおこないます
5. 地域の方々の健康の維持・増進の手助けをします

### 【看護体制】

障害者病棟(40床2病棟)10:1看護

療養病棟(40床1病棟)20:1看護

回復期リハビリテーション病棟(40床・50床2病棟)13:1看護

### 【教育理念】

専門職業人としてのその使命を果たすべく自立と成長をめざして学び続ける看護職員を育成する

### 【理想とする看護職像】

1. 回復期・慢性期を中心とした分野において、専門的な知識・技術を持ち、患者・家族のニーズをとらえた看護ができる
2. 倫理観を持ち、人としての尊厳を尊重できる
3. お互いを認め合い、良好な人間関係を築くことができる
4. 自己の能力を客観的に捉え、自ら学び成長できる

### 【教育目標】

1. 医療チームの一員として協働でき、職種の中心的役割を担える看護職を育成する
2. 科学的根拠に基づいた看護・介護実践のできる看護職員を育成する
3. 専門職業人として、主体的に自己研鑽できる看護職員を育成する
4. 専門知識・技術・判断力・問題解決能力に優れた看護職員を育成する
5. 地域・組織内の関連領域・部門との連携・協働ができる看護職員を育成する

6. 専門職として自律し、主体的に行動できる看護職員を育成する
7. 倫理観を備え、多様なニーズが受け入れられる看護職を育成する
8. 看護職員が、生涯学習を自律的に継続できるよう支援する

## 【教育システム】

### 1. キャリアラダー

看護師の臨床実践能力を段階別に示し、客観的に評価するもので、看護職員は能力段階を確認しながら自己研鑽や人材育成をめざします。

ひとりひとりの成長にあわせてラダーを導入し、それぞれの目標を掲げ取り組んでもらっています。

また、集合研修は勤務時間内として昼と夕方の2回実施し、eラーニングを活用して研修するなど、多様な勤務形態に合わせて受講できるようにしています。

### 2. 院内研修

ラダーレベルに応じて研修会を毎月企画運営しています。

介護職の方にもおむつ交換やPPEの着脱方法、急変時対応など医学的知識も得ながら実践を含めた研修を実施しています。

### 3. 看護研究発表会

年1回院内看護研究発表会を実施していました。コロナ禍になってからは集合による発表会ではなく事例検討として自分の看護を振り返りまとめてもらっています。その中から何例かを看護協会の看護実践報告会で発表してもらっています。

### 4. 外部研修

看護協会の研修等には本人が興味のある研修や認定の研修も公費で積極的に参加してもらっています。

回復期リハビリテーション認定看護師 2023年7月現在3名(1名受講予定)

認知症看護認定看護師教育課程 2023年7月現在(1名研修終了)

認定看護管理者教育課程ファーストレベル 2023年7月現在15名

認定看護管理者教育課程セカンドレベル 2名

医療安全管理者養成研修 2023年7月現在8名

医療対話推進者養成研修 2023年7月現在5名

## 【研修内容】



## 【中途採用サポート体制】

- ①当院は中途採用者がほとんどですが、中途採用者にもプリセプターシップを導入し精神面でのフォローを行っています。日常業務は当日の担当者が実施しますが、技術面でもどのようにフォローするのかをプリセプターとも情報交換を行い、技術習得できるようにしています。
- ②不安を軽減できるよう入職後、相談役を担っている外来師長が入職後の状況を確認し困っていることなどはないかの面談を実施しています。
- ③看護手順習得に関しては、ナーシングスキルのオンラインツールを導入し、看護技術を映像で確認できます。またその他の研修も動画を活用し個別に好きな時間に学習できるようにしています。
- ④技術面に関しては「看護技術チェックリスト」を用い、入職後・1ヶ月後 3ヶ月後で評価し、不十分と思えるところを個別的に指導しています。
- ⑤年に2回程度、長期間仕事をしてない方に対して技術面の再確認ができるセミナーも実施しており、入職前にはそのようなセミナーの活用もできます。

## 【委員会活動】

患者さま・ご家族の方が安心して療養生活を送れるよう看護部だけではなく他職種と情報交換や情報共有を行い、看護ケアを充実させることができるよう委員会活動を行っています。

### ①認知症・せん妄ケアチーム

問題行動や意思疎通が困難な患者さまに対して、不安や混乱から感じている苦痛を最小限にする関り方や、その人らしさを大切にしながら安心して心地よい療養生活を送ってもらうようサポートできるよう症例検討会や病棟ラウンドをしています。

### ②呼吸器サポートチーム

呼吸に問題を抱える患者さまに対して、呼吸ケアラウンドを行い呼吸状態が改善するよう検討し、安楽な呼吸への援助ができるよう呼吸ケアの標準化と質向上を目的に活動しています。また、歯科衛生士やセラピストと協働し口腔ケアやポジショニングに力を入れ誤嚥性肺炎予防に努めています。

### ③主任会

主任として看護実践の役割モデルとなり、管理的視点で問題を捉え解決するために必要な能力を身につけ看護の質の向上を図るために看護師と介護士が別々に実施しています。

### ④倫理・教育委員会

豊かな人間性と専門性の高い知識・技術を身につけ、主体的な看護が実践できるようまた、職員育成のために教育的役割を果たすよう活動しています。倫理に関する課題を取り上げ検討し、倫理感を養う活動もしています。

### ⑤看護記録委員会

看護記録の意義について理解し、記録の充実と質向上を図っています。

### ⑥感染管理リンクナース会

院内感染予防対策委員会と連携し、各部署の院内感染予防と、感染発生時に適切かつ迅速な対策の実践ができるよう職員教育を行っています。

### ⑦安全リスクマネージャー部会

医療安全管理委員会と連携し、各部署の事故防止と安全管理を担当しています。インシデント・アクシデントレポートを分析し、事故防止に繋げる活動をしています。

### ⑧看護ケア委員会

標準化・統一した看護ケアを提供できるようスタッフに周知する事や業務上の問題点を抽出し、業務改善に繋げ安全で質の高い看護ケアを提供できるよう努めます。

### ⑨褥瘡予防対策委員会

褥瘡状況の報告で情報共有を図り、褥瘡対策を討議・検討し、勉強会を実施するなどその効果的な推進をはかるために活動しています。